

終わりに —夢の途中あるいは勇気—

浅川伸一 <asakawa@twcu.ac.jp>

クリストフ・コロンブスのアメリカ発見について、そもそも彼の偉大な点はどこにあるか、とうことをきく人があるならば、それは西周りのルートでインドへ旅行するのに、地球が球形であることを利用しようと言うアイデアではなかった、と答えねばならないだろう。このアイデアはすでに他の人々によって考えられたものであったし、彼の探検の慎重な準備、船の専門的な装備など言うことでもなかった。それらのことは、他の人でもやろうとすればやれたに違いない。そうではなくて、この発見的航海で最も困難であったことは、既知の陸地を完全に離れ、残余の貯えでは引き返すことがもはや不可能であった地点から、さらに西へ西へと船を走らせるという決心であったに違いない。

—ハイゼンベルク著「部分と全体」p.115, みすず書房—